

## 連合社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士(後期)課程

### 概 要

連合社会福祉学研究科博士(後期)課程は、吉備国際大学との連合により平成20年4月に開設されました。社会福祉学分野において研究者として自立した研究活動を行う能力を養い、豊かな学識を涵養することを目的としています。

近年のわが国における社会情勢は大きな変化を示し、さまざまに多様化、複雑化、国際化、さらに深刻化しています。これらの変化は社会福祉分野にも波及し、多くの課題が産出しております。このような課題は複雑になり、また、重度化するという様相を呈していることから、高度な専門性を有した人材が求められています。

そこで、本研究科博士(後期)課程では、修士課程で目指した「専門的な研究能力を有した高度に専門的な職業人」「リカレント教育」を発展させ、現場での業務に必要な自立した研究能力を持ち、高度な学識を備える人材を養成することを目的にしています。本課程は、社会福祉教育・研究・現場での実践などそれぞれの分野において対応・解決が求められている課題に対し、論理的、科学的に解明し、より創造的な実践へと展開することを目指します。

### 開講科目

#### [専門選択科目]

|               |               |
|---------------|---------------|
| 社会福祉学特殊講義Ⅰ    | 社会福祉学特殊講義Ⅱ    |
| 社会福祉学特殊講義Ⅲ    | 社会福祉学特殊講義Ⅳ    |
| 社会福祉学特殊講義Ⅴ    | 社会福祉学特殊講義Ⅵ    |
| 社会福祉学特殊講義Ⅶ    | 社会福祉学特殊講義Ⅷ    |
| 社会福祉学特殊講義Ⅸ    | 社会福祉学特殊講義Ⅹ    |
| 社会福祉学特殊講義Ⅺ    | 社会福祉学特殊講義Ⅻ    |
| 社会福祉学研究法特殊講義Ⅰ | 社会福祉学研究法特殊講義Ⅱ |

#### [総合科目]

- 社会福祉学特殊研究Ⅰ
- 社会福祉学特殊研究Ⅱ
- 社会福祉学特殊研究Ⅲ

### 教育課程の編成

社会福祉学研究科博士(後期)課程では、社会福祉学分野において研究者として自立した研究活動を行う能力を養い、豊かな学識を涵養し、現場での業務に必要な理論と実践的な研究能力の向上を目指す教育課程を構築しています。

社会福祉学の課題は広い分野にわたり、その解析もさまざまな立場、さまざまな視点からと多様性に富んでいます。故に、ステレオタイプの解決法や対応では賄いきれません。そこには創造的・独創的な研究方法や成果が求められます。

そこで、本研究科では以下の教育課程を編成しています。教育課程の編成は、専門選択科目、総合科目から構成されています。専門選択科目は13科目あり、「社会福祉原論」、「社会福祉思想論」「社会福祉政策論」から社会福祉の基盤を学び、社会福祉の重要な技法である「コミュニティ・ソーシャルワーク論」を学びます。さらに研究を深めるための手法として、質的研究・量的研究を配しています。これらの手法は社会福祉学をより論理的・科学的に理解するために必要な科目になります。総合科目は必修であり、課題に対する解決法や対応策を体系的に構築することを目指します。

これらの科目を修得し、さらに適切な研究指導を受けることにより理論・方法、実践、そして研究成果として結実するよう一貫した教育課程を編成しています。